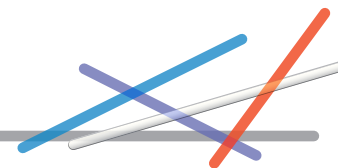


# 取り回しのしやすいサイズを守りながら、想像を超える広さとかつてない快適さを実現。



センタータンクレイアウトを活かした高効率なパッケージングにより、従来モデルを超える圧倒的な空間価値を実現。中でもリア席は、ゆとりの居住性を獲得。パーソナルユースからファミリーユースまで幅広いお客様に満足いただけます。

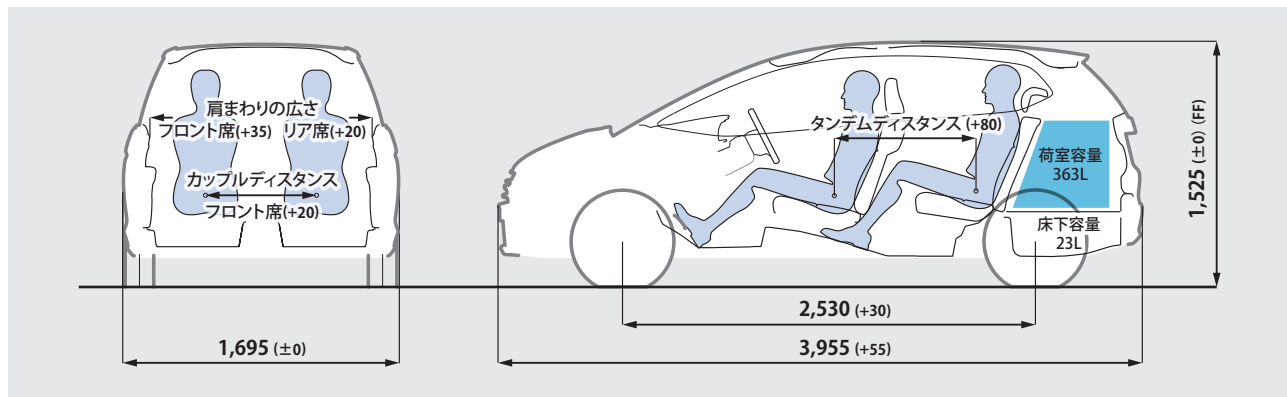
## 座った瞬間にわかる圧倒的な広さと快適さ

リア席は、タンデムディスタンスを80mm拡大し圧倒的な広さを実現しました。ホイールベースを30mm、全長を55mm延長したうえで、リアサスペンションの前後長短縮やリアホイールアーチフランジの極小化などにより、ホイールベース延長分を上回るゆとりを獲得しています。

また、従来モデルと同じ全幅としながら、ドアライニングの形状やサイドウィンドウの配置を工夫することで横方向の空間を拡大。フロント席は、カップルディスタンスを20mm広げながら、肩まわり空間も35mm拡大し、快適なパーソナル空間を実現しました。リア席肩まわり空間も20mm拡大しています。

● 数値はすべて従来モデル比。

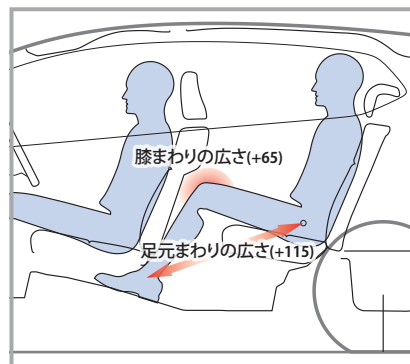
■パッケージング図



● ( )内は従来モデル比。 ● 単位=mm 数値はすべてHonda測定値。 荷室容量はすべてVDA方式によるHonda測定値。

## ゆったり快適に座れるリア席

タンデムディスタンスの拡大により、従来モデルに対し、膝まわりの広さを65mm、足元まわりの広さを115mm拡大。圧倒的な快適性を実現しました。



## リア席使用状態でも圧倒的に積める荷室空間

リア席空間を広げながらも、テールゲートの薄型化などにより363Lの荷室容量を確保。リア席使用状態でスーツケース4個<sup>※1</sup>を積むことができます。床下にも23Lの収納スペース<sup>※2</sup>を備えています。



※1 サイズや形状によっては積載できない場合があります。 ※2 ガソリン車の場合。4WD車は床上363L、床下12L、HYBRIDは床上のみの314Lとなります。